

講義名	教養特講Ⅰ（商業高校出身者のための大学入門）		
科目区分	教養特講		
担当教員	川合 宏之		
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 3時限	授業形態	
	2020年度 人間社会学部 人間健康学科/2020年度 人間社会学部 観光学科/2020年度 人間社会学部 人間社会学科/2020年度 経済学部 経済情報学科/2020年度 経済学部 経済学科/2020年度 商学部 マーケティング学科/2020年度 商学部 経営学科		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

「教養基礎（商業高校出身者のための大学入門）」は、商業高校等出身者を対象とし、「高校で学んだ商業科目」から「大学の専門科目」への橋渡しの役割を持つ科目である。

この講義は、まず「高校での学び方」と「大学での学び方」の違いについて考える。そのうえで高校の商業科目の各分野の中から、商業高校等出身者としておさえおかなければならないテーマをふりかえり、理解を深める。学習を通して、商業高校で学んだ知識と技術の深化、統合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を養う。さらに大学の専門科目の学習の動機づけや卒業後の進路についての意識を高めることを目標としている。

到達目標

- ・商業高校等出身者としておさえおかなければならない知識と技術をふりかえり、補完することができる。
- ・商業高校での学びが、大学の授業や実社会でどう役立つかを発見することができる。
- ・商業高校での学びをもとに、さらに大学で学ぶことへの意欲を身につけることができる。
- ・将来目標を見出し、自ら大学での学修計画につなげることができる。

提出課題

授業中に学習した内容に基づく課題を、その都度指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

- ・授業中に学習した内容に基づく課題等の解答・解説を行う。
- ・最終授業で、全体に対するフィードバックを行う。

評価の基準

平常点（課題の提出、授業への参加度）により評価する。

履修にあたっての注意・助言他

この科目は、「商業高校等出身者」のみが履修できる科目である。

教科書

・使用しない。

プリント資料及び参考文献

必要に応じて授業の中で紹介する。

授業計画

1. 経済と流通の基礎 (1) 経済のしくみとビジネス
2. 経済と流通の基礎 (2) 経済活動と流通
3. ビジネスの担い手 (1) ものの生産者
4. ビジネスの担い手 (2) サービスの生産者
5. ビジネスの担い手 (3) 小売業
6. ビジネスの担い手 (4) 卸売業
7. ビジネスの担い手 (5) 物流業
8. ビジネスの担い手 (6) 銀行
9. ビジネスの担い手 (7) 証券会社
10. ビジネスの担い手 (8) 保険会社
11. ビジネスの担い手 (9) 情報通信業
12. 企業活動の基礎 (1) ビジネスと企業
13. 企業活動の基礎 (2) 資金調達
14. 企業活動の基礎 (3) 企業活動と税
15. 企業活動の基礎 (4) 雇用

(注) 項目や順序を入れ替えることがある。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・日頃から、商業高校出身者としての意識を持ち、商業系のトピックに興味を寄せておくこと。
- ・大学においても、各種検定・資格試験に挑戦する意欲を持つこと。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

大規模多人数同時参加型オンラインアンケートアプリを用いて理解度をチェックし、次回以降の授業の参考にする。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
高等学校教諭経験から、高校での学習内容と大学での学習内容を融合できる授業実践を行っている。高校の学習が知識の羅列にならないよう、学問分野の枠を超えた学習を心がけている。

備考

この科目は、「商業高校等出身者」のみが履修できる科目である。